

第二外语，第二故乡

田村 祐子（栃木县）

1985年是令人难以忘怀的一年，那年开始中国成为了我的第二故乡。为了参加8个月的汉语培训班，那年二月四日我第一次站在了北京首都机场，来到了中国。说实话，虽然我在大学作第二外语学过汉语，但是我学得不怎么好。不过因为当时我工作了3年，已经厌倦了缺少刺激而单调的日子，所以我想逃避那每天都一样的无聊的世界。到了中国后我终于下定决心，要好好儿学习汉语。结果，我越学就越对中国文化感兴趣了。不上课的时候，我常常去逛大街和游览名胜古迹。在北京一出门就能看到很多在电视上看到的风景。而且都是远远超出我的想象的很壮观的美景。我觉得我爱上中国了。

到了中国我才发现中国除了风景美丽，中国人还都很热情，心灵都很纯洁。我开始对中国人也产生了好感。有一次听说有个面条店的面条非常好吃，所以我和几个外国朋友约定一起去了那个面条店。面条店很有人气排着很长的队，我们也一起排了起来。这时，排在我们前后的中国人发现了我们是外国人以后问我们带粮票了吗？而我们根本不了解粮票是什么。后来才知道原来30年前的中国没有粮票是买不了食物的。他们立刻和周围的中国人打招呼，一起把粮票分给了我们。终于我们顺利地吃到了好吃的面条。这种暖人心怀的经历不是一次两次。我越来越喜欢中国人了。

如今已经过了快40年了。我一直怀念着在中国的日子。我在历史悠久的，取得了惊人的发展的中国住过。这又是我的骄傲，也是我一生的财富。我深切地盼望中日两国永远是友好的邻居。

第二外国語、第二の故郷

田村 祐子（栃木県）

1985 年は、私にとって忘れられない年です。その年から中国は私の第二の故郷になりました。8 ヶ月の中国語研修に参加するため、その年の 2 月 4 日、私は初めて北京首都空港に降り立ちました。中国に来たのです。実は大学時代に第二外国語として中国語を学びましたが、さほど得意ではありませんでした。しかし時の私は、就職して 3 年が経ち、刺激の無い単調な日々嫌気がさして、変化のない退屈な日常から逃げ出したかったです。中国に来てから、ようやく中国語をしっかりと勉強しようと思いました。そして、次第に中国文化に興味を持つようになりました。授業の無いときは、よく街をぶらぶらしたり名所旧跡を訪ねたりしました。北京は一步外に出ると、テレビで見たことのある光景がたくさんあります。その上、それらは私の想像を遙かに超えたとても素晴らしい景色でした。私は中国が好きになりました。

中国の美しい景色に加え、中国人がとても親切で純朴なことに気づき、好感を持つようになりました。ある日のことです、とてもおいしい麺店が有るとのこと、何人かの外国人の友達と連れ立ってその店に行ってみました。なるほど人気店のようで長い列ができていたので私達も列に並びました。すると私達の前後に並んでいた中国人が私達が外国人だということに気づき、食料配給切符を持っていますか？と声をかけてきました。私達は、配給切符のことを全く知りませんでした。後で知ったのですが、30 年前の中国は食料購入のためには配給切符が必要でした。彼らは、すぐに周りの中国人に声を掛け合って、私達に配給切符を分けてくれました。おかげで、私達はそのおいしい麺を無事に食べることができたのです。このような心温まる経験は一度や二度の事ではありませんでした。私はますます中国人が好きになりました。

まもなく 40 年が経とうとしていますが私はずっと中国での日々を懐かしく思っています。悠久の歴史があり、驚異的な発展を遂げた中国に住んだ事があることは、私の誇りでもあり、一生の宝物でもあります。日中両国が永遠に友好的な隣国であり続けることを心から願っています。

《杭州的传奇》冒险故事

酒卷 大雅（栃木县）

在大学图书馆的深处，我找到了一本名为《杭州的传奇》的书，这本书收集了许多有关浙江省杭州市的传说，它让我对杭州充满了好奇，也成为我选择浙江大学的一个契机。其中，《西湖女神》、《黄龙洞》、《玉泉传说》、《龙井茶的由来》、《东坡肉》和《西湖醋鱼菜的由来》都给我留下了非常深刻的印象。所以在留学期间，我走访了这些故事中的圣地。

去年九月我开始浙江大学的留学生活，当时正值盛夏，仲夏的杭州气温超过40度。我在酷热的机场打了一辆出租车，让司机带我去浙江大学。司机问我：“你想去哪个校区，紫金港还是玉泉？”我说：“玉泉……”。在车上，我们聊到了玉泉的话题。据说有一条可怜的龙被寺里的住持出卖，困在一口井里，现在变成了一个池塘，被称为“玉泉”。是那个玉泉？我激动万分！可惜，传说中的寺庙已不存在，但我已决定在玉泉的这个校园里度过六个月。

后来，我在杭州认识了一位中国朋友，他对我说：“下课后我们骑自行车去玩儿吧！附近有个大湖，叫西湖……”。我看了地图才知道，从玉泉校区骑自行车居然二、三十分钟就可以到西湖了！虽然我是从著名的《白蛇传》中知道它的、但是西湖之大让我震撼，大得让我误以为是海洋。在湖中央有一座孤零零的小岛，据说是传说中一个男人失去爱人后哀悼的地方。望着宁静的湖面，我觉得美丽的西湖女神仿佛就在某处凝望着我，当时我的心情非常激动。

从西湖回来的路上，有很多叫“黄龙”的地方，如“黄龙小馆”、“黄龙海鲜”、“黄龙体育中心”等。看到“黄龙”这两个字，我很惊讶，地问朋友为什么这么叫，他说：“因为附近有一个著名的风景区叫黄龙洞”。想着善良的黄龙，他勇敢地与人类一起对抗恶龙，我激动不已，之后就和朋友一起沉醉在西湖夜景中了。

当天的晚餐是东坡肉和西湖醋鱼。我当时的表情就不用说了。杭州人对这些菜肴非常自豪，店主向我推荐了这两道菜，并说：“这些菜不辣，所以我觉得很适合日本人的口味！”。然后当我看着菜单点饮料时，发现了菜单上居然有龙井茶。店主看到我喊出“龙井茶！”也觉得很有趣，免费送了我一杯。店主笑着说：“这不是上海或北京的，而是在龙井村采摘的真正的茶叶”。我免费喝到了拯救古老龙井地区摆脱贫困的名茶！

我在杭州的时间虽然只有半年，但仍能清晰地感受到《杭州的传奇》的痕迹无处不在。今年是栃木县与浙江省缔结友好协议30周年。我为出生在栃木县而感到自豪，因为栃木县与浙江省签有友好协议，而杭州给了我如此激动人心的冒险经历。

最后，我祝愿栃木县与浙江省的友好关系越来越好，并永远延续。感谢大家的收听。

『杭州の伝説』冒険譚

酒巻 大雅（栃木県）

大学の図書館の奥まった場所に、『杭州の伝説』という本があります。私が浙江大学に留学するきっかけとなった、浙江省杭州市にまつわる伝説をまとめた書籍です。中でも「西湖の女神」、「黄竜洞」、「玉泉の伝説」、「竜井茶の源祖」、「東坡肉」、「西湖酢魚料理の由来」の6つが印象深いです。なぜなら留学を通して所謂聖地巡礼ができたから。

私が浙江大学に留学したのは去年の9月で、杭州市は気温40度を超える真夏でした。暑さにうだりながら空港でタクシーに乗り、運転手に「浙江大学に向かってください」というと、「キャンパスは？紫金港か、玉泉か…」。私はそこで「玉泉！清蓮寺の住職に裏切られた可哀想な竜が井戸の中に閉じ込められ、今は池になったというあの玉泉！？」と大興奮。残念ながら清蓮寺はもうありませんでしたが、その時私は玉泉の名を冠したキャンパスで半年間過ごすことに決めました。

ある日、現地で出会った中国人の友達に「授業終わったらサイクリングに行こうよ、西湖っていうでっかい湖が近くにあって…」と言われて行くことに。地図を見てみると、なんと自転車でも2,30分の場所に西湖が！かの有名な『白蛇伝』で知ってはいたものの、実際に見てみると海と見間違えるほどの大きさに圧倒されました。湖の中ほどには、伝説の中で男性が恋人とはぐれてしまい悲嘆に暮れた場所と思われる小さな孤島が。静かな湖を眺めていると、どこからか西湖の美しい女神に見つめられているようでドキドキしました。

西湖から帰る途中、「黄龙飯店」「黄龙海鮮」「黄龙体育中心」などやたらと「黄龙」の二文字が目に入りました。友達にその理由を聞いてみると「近くに黄龙洞という名勝地があるから」と一言。冷静な友達をよそに大興奮の私は、人間と一緒に邪悪な竜に勇敢に立ち向かった心優しい黄龙を思い浮かべながら、西湖の夜景にしみじみ。

その日の夕食は、なんと東坡肉と西湖酢魚。その時の私の様子はもう言うまでもないでしょう。杭州市の人たちもそれらの料理を大変誇りに思っており、「辛いから、日本人の口にも合うと思うよ！」とお店の人が薦めてくれました。そして飲み物を頼もうとメニューを見ると、龙井茶があるではありませんか。「龙井茶だ！」と一人叫ぶ私を見て面白がっていた店員さんは、なんと無料で一杯サービスしてくれました。お店の人は、「上海でも北京でもなく、龙井村で摘んだ本場のお茶だよ」とにっこり。まさしく古の龙井地方を貧窮から救った伝説のお茶を無料で飲んでしまったのです！

私の杭州留学は半年間という短い期間で終わってしまいましたが、『杭州の伝説』の名残を至る所に感じた思い出は今でも鮮明に思い出すことができます。今年度は我が栃木県と浙江省が友好協定を結んでから30周年という非常にめでたい年です。こんなに心躍る冒険を味わわせてくれた杭州と友好協定を結んでいる栃木県に生まれたことを誇りに思います。これからもその友好関係が永遠に続いていくことを願って、私のスピーチを締めさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

我的排球缘

福岛 美咲（栃木县）

大家好。我叫福岛美咲。我喜欢中国。所以2021年4月考入大学后我选择了汉语专业，并且参加了在昭和女子大学和上海交通大学攻读双学位的项目。按照教学计划，我应该从2022年9月起赴上海交通大学留学。但是受新冠病毒疫情影响，上海之行被推迟了一年，去年9月才得以实现。

刚到上海时，我无比兴奋，充满了期待，但更多的是不安。虽然每天在课堂上都会用汉语跟中国老师交谈，但基本上没跟当地人进行过交流。在校园里见到中国学生时，我也没有勇气主动跟他们打招呼。就这样一个月过去了。10月中旬，我在上海交通大学的网站上看到一条征集参加“暖冬杯”排球比赛球员的消息。我一下振作起来，觉得这可是一个和中国人交流的好机会。因为我上中学时是学校排球队的一名成员，对打排球有一定的自信。中国女子排球队是世界强队，我觉得能够在中国打排球是一种荣誉。通过参加排球比赛，可以结识中国朋友，锻炼自己的意志，提高自己的汉语水平。我毫不犹豫地报了名，并被录取了。

两个星期后，我见到了队友们。我们队由11名队员组成，7男4女。除了我以外，都是中国人。我们每周集训四天。绝大多数队友都曾打过排球，也有几名是刚刚接触排球的。毕竟高中毕业后，我一直没摸过排球，而且因为缺乏沟通，所以刚开始的时候，和队友们配合得不太好。但队友们都非常热情，耐心地给我解释，还帮着纠正我的汉语发音。渐渐地我的球技日臻熟练，和队友们配合得也越来越默契。比赛采取单循环积分制，从去年11月比到今年3月，每两个星期比赛一轮。每一轮我都上场。每当我失误时，队友们都会鼓励我说：“没关系、没关系”，“集中精力打好下一个球”。每当我们队得分时，我们都会互相击掌，分享喜悦！经过努力，我们队最终获得了第四名。在我回国前，我的队友们特意带我去旅行，并为我送行，还夸我说：“你成熟了”，“你的汉语也说得越来越好了”。

这就是我的排球缘，也是我的中国缘。通过排球，我不仅结交了中国朋友，而且认识到了中国人的勤劳、善良、坚韧和热情，增添了生活的乐趣。我自己也得到了锤炼，坚定了信念，加深了对中国的理解。上海也成了我的第二故乡。

バレーボールを通じた出会い

福嶋 美咲（栃木県）

みなさん、こんにちは。福嶋美咲と申します。私は中国が好きです。そこで2021年4月の大学入学後に中国語を専攻し、昭和女子大学と上海交通大学のダブルディグリープログラムに参加しました。教育課程では2022年9月から上海交通大学に留学する予定でした。しかし新型コロナウイルス流行の影響で上海への渡航は1年延期され、昨年9月にやっと渡航が実現しました。

初めて上海を訪れた時、私は興奮と期待に満ちていた一方で、それ以上に不安でした。授業では中国人の先生と中国語を使って交流していましたが、現地の人とコミュニケーションをとることはなく、キャンパスで中国人学生を見かけても自分から進んで挨拶をする勇気がありませんでした。このように一ヶ月が経ってしまいました。10月中旬、上海交通大学のウェブサイトで「暖冬杯バレーボール大会」の参加選手を募集する案内を見かけました。私は立ち直り、これは中国の人たちと交流できる絶好のチャンスだと考えました。中学時代にバレーボール部に所属していたこともあり、バレーボールには多少の自信がありました。また、中国の女子バレーボールチームは世界の強豪であり、中国でバレーボールが出来ることはとても光栄なことでした。大会に参加することで、中国人の友人を作り、自分の精神を鍛え、中国語能力を向上させることができます。私は迷うことなく申し込み、無事にチームの一員になることができました。

2週間後、初めてチームメイトに会いました。チームは男性7人、女性4人の計11人で、私以外はみんな中国人学生でした。私たちのチームは週に4回練習しました。ほとんどのチームメイトはバレーボールの経験者でしたが、何人かは未経験者でした。なんとと言っても私は中学卒業以来バレーボールを練習しておらず、コミュニケーション不足も加わり、最初はチームメイトとの連携が上手くいきませんでした。でも、彼らはとても熱心に辛抱強く説明してくれたり、中国の発音を直してくれたりしました。おかげで私のプレーは徐々に上手くなり、チームメイトとの連携も問題なく取れるようになりました。試合は総当たり戦で、昨年11月から今年3月まで2週間ごとに開催され、私はすべての試合に出場しました。ミスをした時は、チームメイトは「大丈夫！大丈夫！」「次、1本集中！」と励ましてくれ、得点を決めるたびにハイタッチをして喜びを分かち合いました。帰国前、チームメイトは特別に私を旅行に連れて行ってくれ、別れ際に「成長したね」「中国語がどんどん上手になったね」とめてくれました。

これが私とバレーボールの縁、そして中国との縁です。バレーボールを通じて、中国人の友人と出会えただけでなく、中国人の勤勉さ、優しさ、粘り強さや情熱を知ることができ、蜜学生生活がとても楽しいものになりました。私自身も心を鍛えられ、揺るぎない信念を持ち、中国への理解を深めました。上海は私にとって第二の故郷です。